

サステナビリティビジョン2050
Life with Green Technology

～「環境技術でひらく、持続可能で豊かな暮らし」を実現する企業グループへ～



Contents

経営の概況	1
セグメント別の概況	3
ニュース・ダイジェスト	7
連結財務諸表	9
会社概要／株式情報	10

第81期
中間報告書

株主の皆様へ

2025年6月1日 ▶ 2025年11月30日

 三協立山株式会社

証券コード 5932

◆ 株主の皆様へ



代表取締役社長
平能 正三

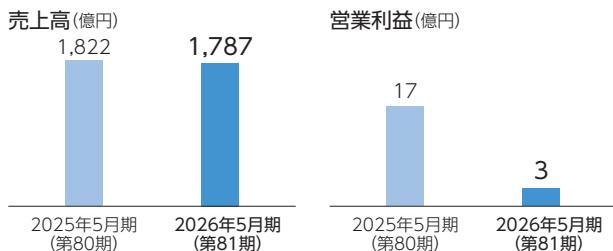
当第2四半期(中間期)の経営環境と営業概況

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く外部環境は、国内経済では緩やかな回復基調が続いたものの、一部に弱めの動きが見られました。雇用・所得環境の改善が続く中で、個人消費は底堅さを維持しましたが伸び悩みとなり、企業収益は米国の関税政策による製造業への下押し影響が見られました。また、建築基準法改正による駆け込み需要の反動減や建設費の高騰などにより、新設住宅着工戸数が減少しました。海外では、各国の通商政策や地政学的リスクの影響により、ドイツ経済は依然として低迷、タイ経済は自動車市場回復の兆しが見られましたが、輸出の鈍化などにより成長が減速し、新設住宅着工戸数の大幅な減少となりました。

このような厳しい事業環境の下、当社グループは2025年7月に中期経営計画を見直し、「早期業績回復に向けた収益構造改革を断行」を基本方針として、間接コスト削減、業務・

当第2四半期(中間期)



組織体制の効率化、建材事業の構造改革、押出形材製造体制の適正化、欧州子会社の構造改革を推進しております。

当中間連結会計期間の業績は、売上高1,787億58百万円(前年同期比1.9%減)、営業利益3億21百万円(前年同期比81.9%減)、経常利益72百万円(前年同期比95.3%減)となりました。また、欧州子会社の構造改革に伴う事業構造改革費用として特別損失を計上したことなどから、親会社株主に帰属する中間純損失21億2百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益53百万円)となりました。

収益構造改革の進捗と今後の見通しについて

現在推進している収益構造改革における5つの施策について、現時点での進捗状況は下図のとおりであり、2027年5月期までに累計で最大効果額は115億円(特別利益・特別損失を除く)を見込んでおります。

「欧州子会社の構造改革」については、123名の人員削減を実施し、当中間連結会計期間において、事業構造改革費用として11億84百万円を特別損失に計上しております。土地建

5つの構造改革により収益改善

'27/5期まで 累計最大効果額 115億円

※特別利益・特別損失を除く

進捗フェーズ: ■ 計画 ■ 実行

進捗フェーズ	'26/5期 1Q	2Q	'28/5期以降
01 間接コスト削減	短期改善・契約内容見直し	中長期収益性改善施策	
02 業務・組織体制の効率化	建材組織再編	間接業務の効率化・組織最適化	
03 建材事業の構造改革	価格改定含む売価適正化	商品廃止・工場集約	追加施策
04 押出形材製造体制の適正化	押出3ライン停止	原価低減活動	押出・皮膜の追加停止
05 欧州子会社の構造改革	鉄道事業の人員削減等の合理化	工場売却に向けた交渉	追加施策

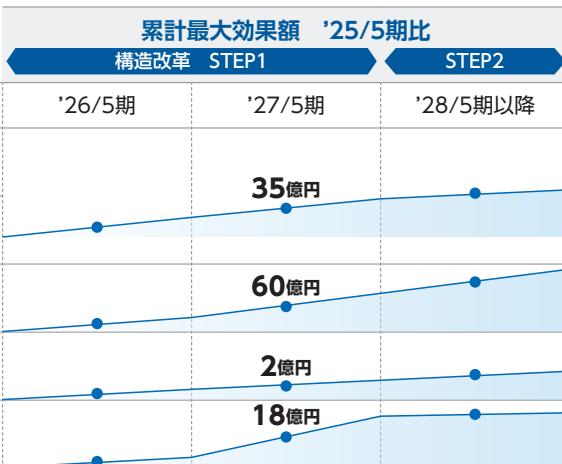
物一部売却につきましても2026年3月迄に譲渡完了を予定しており、2026年5月期において固定資産売却益約19億円を計上する見込みであります。また、直近のドイツ経済の状況を鑑み、追加施策も検討しております。

国内においても、業務、組織、人材の一層の最適化を図るべく組織改革を実施いたしますが、その一環として150名を上限とした希望退職者の募集を行うことといたしました。今回の希望退職者募集に伴い発生する費用は2026年5月期において特別損失として計上する見込みです。

上記以外にも追加施策として資産売却を予定しており、収益構造改革も含めたこれらの効果を踏まえ、2026年5月期通期の業績予想は据え置いております。

中間配当は1株当たり12.5円を実施いたします。なお、期末配当は1株当たり12.5円を予定しており、年間配当額は2025年7月10日付で公表いたしました1株当たり25円から変更はございません。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



経営理念

お得意先・地域社会・社員の協業のもと、新しい価値を創造し、お客様への喜びと満足の提供を通じて、豊かな暮らしの実現に貢献します。

行動指針

私たちは

お客様満足

① 常にお客様の視点に立ち、誠実に対応することで、信頼される存在であり続けます。

価値創造

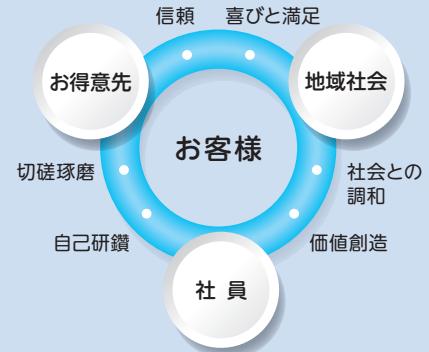
② 技術と知識の向上に努め、新たな製品の開発とサービスの提供にたゆまず挑戦し続けます。

社会との調和

③ 環境、地域社会、人との調和を考えて行動し、人と自然にやさしい企業であり続けます。

自己研鑽

④ 自己研鑽に励み、互いに切磋琢磨し、働き甲斐のある企業風土を育みます。



CSポリシー

- お客様満足を第一とし、“常にお客様の立場・視点で考え行動”しよう。
- お客様の意見に耳を傾け、“期待や問題点をしっかりと把握”しよう。
- お客様の満足実現に向け、“創意・工夫で改善、提案”しよう。
- お客様の“満足こそが仕事の成果”であると心がけよう。
- お客様の満足を、“共にわかち合えることに感謝”しよう。

◆ セグメント別の概況



建材事業

三協アルミ

売上高構成比

48.6%

多様なニーズに最新技術でお応えするビル建材と「省エネ・バリアフリー・高耐久」を考慮した住宅建材、そして最新のデザインと高い品質を追求したエクステリア建材の提供を通じて豊かな暮らしの実現に貢献いたします。

売上高

865億68百万円（前年同期比5.6%減）

セグメント損失

2億42百万円（前年同期はセグメント利益7億65百万円）

住宅の高断熱化ニーズに応え、省エネ化促進に貢献する基幹サッシとして、スマート、エコ、レジリエンスを兼ね備えた高断熱スリム窓「STINA（エスティナ）」を2025年8月に発売し、拡販を進めました。また、価格改定の効果や堅調なリフォーム需要を取り込み、エクステリア市場における基幹商品の販売強化にも注力しましたが、新設住宅着工戸数の減少による販売量の落ち込みが大きく影響し、売上高および営業利益ともに前年同期比で減収減益となりました。

ビル建材

Low-E複層ガラスで業界トップクラスの断熱性能H-6を実現したビル改修用サッシ
アルミ樹脂複合サッシ
「STINA-R(エスティナ R)」発売



防火ロールスクリーン
「FIRECUT-RS」
発売

国土交通大臣認定
防火設備
(個別認定品)取得

住宅建材

「子どもの安全を守るレジリエンス性能」が「第19回
キッズデザイン賞」を受賞



PRONOVA2



STINA

エクステリア建材

カーポート型太陽光パネル架台
「エネジアース」販売好調



両支持タイプ
2024年6月発売

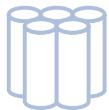
後方支持タイプ
2025年1月発売



販売数量(駐車台数)
が半年間で
2024年5月期比
約24倍に急増、
導入事例も拡大



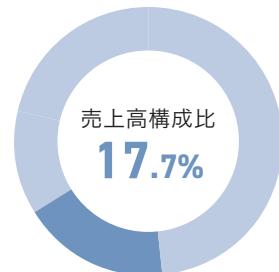
宅配ボックス付きで
スリムな機能ポール
「フレスModea」発売
～照明内蔵でほのかに
光る!夜間の荷物
受け取りをサポート～



マテリアル事業

三協マテリアル

素材の無限の可能性を追求しアルミニウム・マグネシウム材の提供を通じて、持続可能な社会の実現に貢献いたします。



売上高

316億64百万円 (前年同期比 9.9%増)

セグメント利益

11億82百万円 (前年同期比24.4%減)

自動車のEV化など車体軽量化ニーズの高まりから、新湊東工場に20年ぶりとなる大型型材の新押出ラインを増設しました。稼働開始は2025年12月となり、長期的な市場拡大に合わせ段階的な増産を進める予定にしております。このような成長領域として注力している自動車を含む輸送分野の販売量増加により、売上高は前年同期比で増収となりました。しかしながら、減価償却費の増加により、営業利益は前年同期比で減益となりました。



太陽光発電システムを設置した新湊東工場増築棟
(2025年10月末竣工)

新規のアルミ押出ライン導入



詳しくは
P.7参照

◆ セグメント別の概況



商業施設事業

タテヤマアドバンス



ショッピングセンター等の商業施設や、店舗用の陳列機器類、看板・サイン等の屋外広告物の設計・製作・施工およびメンテナンスを提供しています。

売上高

222億76百万円（前年同期比 3.5%減）

セグメント利益

7億26百万円（前年同期比34.0%減）

デジタル化の加速や多様化する消費者ニーズに対応すべく、積極的な投資を行っている小売業態の新規出店や店舗の改装需要の取り込みに注力したものの、受注予定物件の延期や計画縮小が見られました。また、価格改定や環境の変化に対応した物流の最適化を進めておりますが、販売量の低下や物流費などのコスト増加により、売上高および営業利益は前年同期比で減収減益となりました。



汎用什器「タテヤマゴンドラ」



スリムな柱で軽量化とシャープなデザインを実現
システム陳列棚「KLシリーズ」

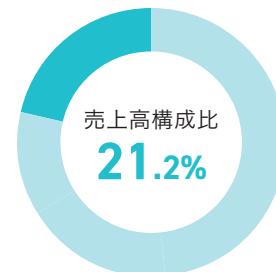


電源が不要なため様々なシーンで活用可能
外照式サイン「アドビューソーラー」
(2025年12月1日発売)



国際事業

欧州・中国・タイにある海外拠点において、
アルミニウムの鑄造・押出・加工を行い、高付加価値製品を提供しています。



売上高

378億97百万円（前年同期比1.7%減）

セグメント損失

13億 5百万円（前年同期はセグメント損失15億64百万円）

業績不振が続く欧州子会社の経営資源の効率的活用や財務体質強化を目的とした構造改革を推進しております。市場の変化に対する対応力強化として、物量確保や付加価値向上、新領域開拓に向けた取り組みを進めましたが、ドイツおよびタイ経済の低成長による物量減少の影響により、売上高は前年同期比で減収、営業損益はコスト削減効果などにより損失額が改善となりました。



新規のアルミ押出ラインを増設 新湊東工場増築工事竣工式を開催

2025年12月3日(水)、かねてより進めておりました三協マテリアル社 新湊東工場増築工事竣工式を執り行いました。式には地元自治体ならびに工事関係者など70名が参列し、無事の完成を祝うとともに、今後の工場の安全と繁栄を祈念いたしました。



始動の儀（平能社長）



新規のアルミ押出ラインを増設
新湊東工場増設工事
竣工式を開催
<https://www.st-grp.co.jp/news/2025news/st20251203.html>



増築工事におけるサステナビリティへの取り組み

増築棟屋根上の

太陽光発電システムでCO₂削減



太陽光発電システムを設置した新湊東工場増築棟



リサイクルアルミ使用率100%の
サッシを採用した増築棟

増築棟に

100%リサイクルアルミ使用の
サッシを採用



既存棟の撤去時に発生した
サッシをリサイクル

既存棟から回収したサッシ

アルミサッシの新たな資源循環モデルを構築

資源回収ネットワーク「サーキュラーエコノミーチャレンジャーズ」を結成

三協立山(株)、(株)アビヅ、(株)イボキン、オリックス環境(株)、(株)こっこー、(株)HARITAは、脱炭素化に向けた高品質アルミの国内循環およびリサイクルアルミの安定供給を目指し、製造業とリサイクル業の事業間連携を通じたアルミサッシの資源回収ネットワーク「サーキュラーエコノミーチャレンジャーズ」を結成し、2025年10月より運用を開始しました。

この取り組みは、解体建物から発生する使用済みアルミサッシの新たな資源循環モデルを構築するもので、事業者間の連携により、一貫した資源回収・リサイクルシステムを確立します。これにより、トレーサビリティの確保が可能になり、脱炭素化に取り組む事業者が求める、信頼性の高い環境配慮型製品へのニーズに対応します。さらに、アルミサッシの回収率向上と高品質なリサイクル原料の安定確保を実現します。

三協立山は、全体構想を主導し、今後は製品化を担います。

アルミサッシの水平リサイクル実現へ

新たな資源回収ネットワーク「サーキュラーエコノミーチャレンジャーズ」を結成

<https://www.st-grp.co.jp/news/2025news/st20251028.html>



独自の訪問サービスで、管理の手間なくウェルビーイングな職場づくりに貢献

植物栽培ユニット「ココの葉」発売

植物工場事業で培った栽培実績と植物工場コンサルティングのノウハウを生かし、オフィス向け植物栽培ユニット「ココの葉」を開発しました。リース方式で訪問サービスとともに提供します。「ココの葉」は、植物の栽培体験を通じて、ウェルビーイングな職場環境の実現に貢献するオフィス向け植物栽培ユニットです。一般的なオフィスグリーンが観賞用であるのに対し、「ココの葉」は野菜やハーブなど約80種類から選べる植物の「栽培・収穫・食べる」という一連の体験を楽しむことができ、社員の心の健康促進や職場のコミュニケーションの活性化をサポートします。

植物栽培ユニット「ココの葉」発売

独自の訪問サービスで、管理の手間なく
ウェルビーイングな職場環境づくりに貢献

<https://www.st-grp.co.jp/news/2025news/st20251016.html>



活用シーン

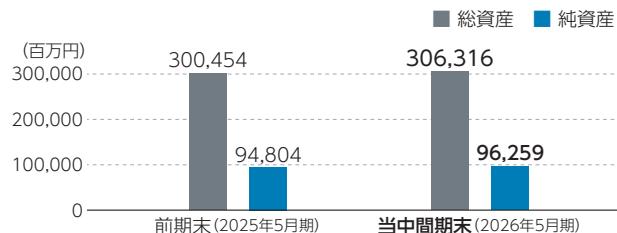


◆ 連結財務諸表

□ 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期末 2025年11月30日現在	前期末 2025年5月31日現在
資産の部		
流動資産	146,195	147,710
現金及び預金	26,593	21,509
受取手形、売掛金及び契約資産	47,565	49,262
電子記録債権	8,924	8,342
有価証券	39	23
商品及び製品	19,117	20,069
仕掛品	16,247	16,764
原材料及び貯蔵品	20,773	20,244
その他	7,460	11,965
貸倒引当金	△ 525	△ 472
固定資産	160,121	152,744
有形固定資産	117,661	113,760
無形固定資産	2,952	2,796
投資その他の資産	39,507	36,187
資産合計	306,316	300,454
負債の部		
流動負債	115,383	122,009
支払手形及び買掛金	40,676	40,274
電子記録債務	15,245	16,464
短期借入金	5,711	7,365
その他	53,750	57,904
固定負債	94,673	83,639
長期借入金	69,382	59,697
その他	25,291	23,942
負債合計	210,057	205,649
純資産の部		
株主資本	67,008	69,375
その他の包括利益累計額	25,645	21,865
非支配株主持分	3,606	3,564
純資産合計	96,259	94,804
負債純資産合計	306,316	300,454



□ 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 2025年6月1日～ 2025年11月30日	前中間期 2024年6月1日～ 2024年11月30日
売上高	178,758	182,256
売上原価	143,900	145,748
売上総利益	34,858	36,507
販売費及び一般管理費	34,536	34,726
営業利益	321	1,780
営業外収益	959	921
営業外費用	1,208	1,168
経常利益	72	1,533
特別利益	50	13
特別損失	1,566	275
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失 (△)	△ 1,443	1,272
法人税等	645	1,198
中間純利益又は中間純損失 (△)	△ 2,089	73
非支配株主に帰属する中間純利益	13	20
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失 (△)	△ 2,102	53

□ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 2025年6月1日～ 2025年11月30日	前中間期 2024年6月1日～ 2024年11月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,940	1,111
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,897	△ 7,778
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,074	3,695
現金及び現金同等物に係る換算差額	396	284
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,514	△ 2,687
現金及び現金同等物の期首残高	20,221	23,312
現金及び現金同等物の中間期末残高	24,735	20,625

会社概要 / 株式情報 (2025年11月30日現在)

□ 会社概要

会社名 三協立山株式会社
 所在地 〒933-8610 富山県高岡市早川70番地
 設立 1960年6月20日
 資本金 150億円
 従業員数 連結:9,739名/単体:4,528名
 U R L <https://www.st-grp.co.jp/>

□ 役員

代表取締役社長	社長執行役員	平 能 正 三
取締役	常務執行役員	吉 田 経 晃
取締役	常務執行役員	久保田 健 介
取締役	常務執行役員	黒 畑 靖 之
取締役	常務執行役員	豊 岡 史 郎
取締役	常務執行役員	東 一 郎
社外取締役		篠 田 寛 子
取締役 監査等委員 (常勤)		藤 巻 靖
社外取締役 監査等委員 (常勤)		森 明 彦
社外取締役 監査等委員		荒 牧 宏 敏
社外取締役 監査等委員		戸 田 和 範
社外取締役 監査等委員		吉 川 美 保

□ 事業セグメント



□ 株式の状況

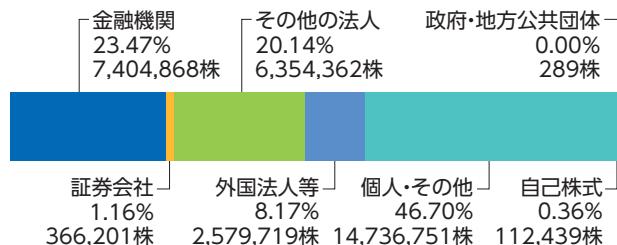
発行可能株式総数…………… 150,000,000株
 発行済株式の総数…………… 31,554,629株
 株主数…………… 21,444名

□ 大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数	出資比率
	千株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,852	9.07
住友化学株式会社	1,565	4.98
三協立山社員持株会	1,503	4.78
三協立山持株会	1,500	4.77
ST持株会	1,400	4.45
三井住友信託銀行株式会社	971	3.09
株式会社北陸銀行	888	2.83
住友不動産株式会社	809	2.58
第一生命保険株式会社	445	1.42
住友林業株式会社	437	1.39

(注) 出資比率は自己株式112,439株を除いて算出しております。

□ 所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日
定時株主総会	8月
基準日	定時株主総会 5月31日 期末配当 5月31日 中間配当 11月30日
上場証券取引所	東京
公告方法	電子公告 (https://www.st-grp.co.jp/) ※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〈郵便物送付先〉	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〈電話照会先〉	 0120-782-031
〈インターネットホームページURL〉	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

単元未満株式の買取請求および買増請求の取扱い

単元(100株)未満の株式の買取請求および買増請求は、その単元未満株式が記録されている口座の口座管理機関までお問合せください。

ホームページのご案内



詳細な財務情報やニュースリリース等は、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.st-grp.co.jp/>

三協立山



今後のIRスケジュール

2026年
4月上旬

2026年5月期
第3四半期決算発表

2026年
7月中旬

2026年5月期
決算発表

2026年
8月下旬

2026年5月期
報告書発送

 三協立山株式会社

〒933-8610 富山県高岡市早川70番地
TEL 0766-20-2101

UD
FONT



この報告書は植物油インキを使用して印刷しています。